

令和3年産大崎地域の 大豆作技術情報（第3号）

令和3年7月27日発行
宮城県大崎農業改良普及センター
TEL:0229-91-0726 FAX:0229-23-0910
<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

～栽培のポイント～

- 中生品種の「タンレイ」では開花が始まっています。開花状況を確認しましょう。
- 雑草の発生が目立つほ場では、適切な除草を行いましょう。
- 天候に留意し、干害・湿害対策を行いましょう。

1 気象経過

- 最高気温は5月中旬，6月上旬，7月中旬において特に高くなりました。最低気温は5月から7月にかけて概ね平年より高くなりました。梅雨にあたる6月第5半旬頃から7月第3半旬頃は，最高気温は平年より低かったものの，最低気温は平年より高くなりました。
- 日照時間は5月第4半旬から第5半旬，7月第1半旬から7月第3半旬にかけて少照でした。7月第4半旬以降は多照で推移しました。
- 降水量は5月第1半旬，5月第5半旬，7月第2半旬を除いて平年より少雨となりました。

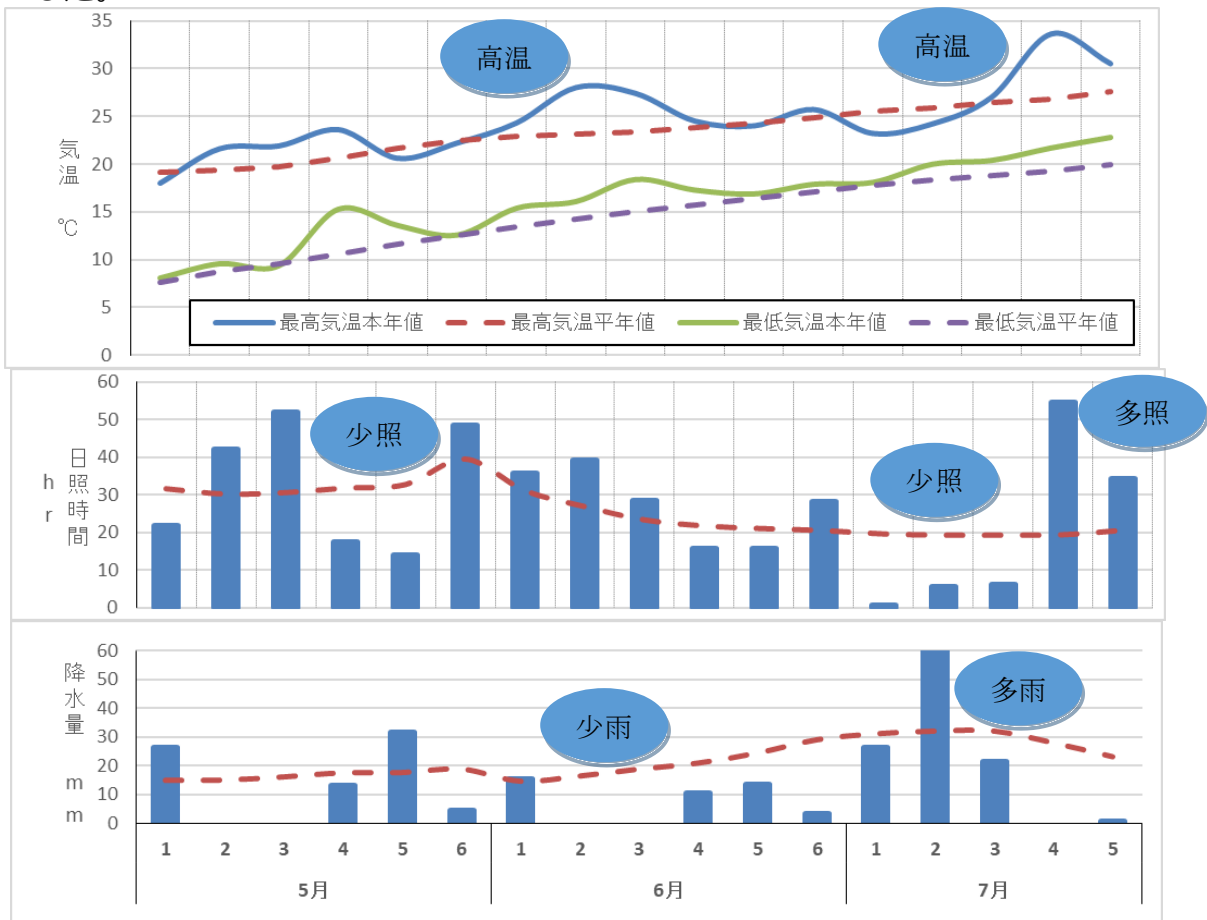


図1 5月～7月第5半旬までの気象
※実線又は棒グラフが本年値，点線は平年値

2 生育概況

7月26日の調査では、一部のほ場で莖長が平年より短い結果となりましたが、主莖節数及び分枝数は全てのほ場で平年並から平年以上の生育となっています。また標準は種のタンレイのほ場では、開花が確認されました。一方で雑草の発生が目立つほ場もあり、今後の適切な管理が求められます。

表1 生育調査ほの生育調査結果

地区名 品種名	区分	7月26日		
		莖長 (cm)	主莖節数 (節/本)	分枝数 (本/本)
古川 タンレイ	本年	41.3	12.2	2.0
	平年比	83%	104%	116%
古川 ミヤギシロメ	本年	49.7	11.1	2.6
	平年比	116%	104%	172%
三本木 きぬさやか	本年	38.3	9.7	1.3
	平年比	121%	116%	159%
小野田 タチナガハ	本年	35.5	10.5	0.7
	平年比	97%	113%	99%

※ 平年比は、前5カ年（平成28年～令和2年）の平均値との比較



3 今後の栽培管理のポイント

- 雑草の発生が目立つほ場では、開花していないことを確認して除草剤散布を実施しましょう。（除草剤については大豆作技術情報第2号を参照）
- 中耕培土未実施のほ場では、中耕培土を最低1回は実施しましょう。
- 降雨が続く場合は、降雨の前後に排水溝や明きょを点検し、排水が滞らないようにしましょう。降雨がない日が続く場合は、土壌表面にしみ出す程度まで、排水溝や畦間内に通水を行いましょう。

東北地方1か月予報（7月24日から8月23日までの天候見通し）令和3年7月22日 仙台管区气象台 発表※抜粋				
<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）>				
		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北太平洋側	10	20	70
【降水量】	東北太平洋側	20	40	40
【日照時間】	東北太平洋側	40	30	30
<気温経過の各階級の確率（％）>				
		低い	平年並	高い
1週目（7/24～7/30）	東北太平洋側	10	30	60
2週目（7/31～8/06）	東北太平洋側	10	30	60
3～4週目（8/07～8/20）	東北太平洋側	20	40	40

◆◆◆◆◆農薬危害防止運動（6月1日～8月31日）◆◆◆◆◆
農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底しましょう。